



第83号
H27年8月25日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

女性農業士経営研修会が開催されました

7月28日、結城地域女性農業士会では経営研修会を開催しました。
10名の会員が参加し、常総市の洋ラン（カトレア）農家と大規模普通作農家のほ場見学を行いました。



カトレア農家では、ヒートポンプや省エネルギー対策の工夫を凝らした温室の見学をしたほか、ホームページやフェイスブックを活用した情報発信などの説明を受けました。会員は、なじみの薄い洋ランの栽培に驚いた様子でした。

普通作農家では、乾田直播による省力栽培や飼料用米導入などの話を伺い、大型機械などの見学をしました。

研修の最後には情報交換会を行い、会員同士の親睦も深まった研修会となりました。

結城市農村青少年クラブ員がプロジェクト活動を発表

7月30日、大宮ソニックシティで行われた「関東ブロック農村青少年（4H）クラブプロジェクト実績発表会」で、結城市農村青少年クラブの湯本晃弘さんが本県代表の一人として発表しました。

プロジェクト「ハクサイの堆肥基肥代替施用に挑戦!!」では、秋冬ハクサイで畜産農家のクラブ員が作った堆肥を使用して、堆肥の肥料成分を考慮した施肥（堆肥代替施用）を行い、土づくりとコスト削減に挑戦しました。

結果は慣行栽培と比べて肥料費等を削減でき、収穫したハクサイも遜色のないものでした。今年はクラブの夏期プロジェクトのトウモロコシ栽培でも堆肥代替を行い、品質も良好でした。

湯本さんは堂々と発表し、審査員からの質問にも丁寧に回答していました。惜しくも全国大会出場は逃してしまいましたが、審査講評では「僅差だった」とのことでした。レベルの高い発表でした。

発表後は、関東各地の農村青少年クラブ員と情報交換を行い、交流を深めました。

ハクサイの
堆肥基肥代替施用に挑戦!!



湯本 晃弘さん

県西地域の農業学園生が坂東市内のネギ生産者を訪問



7月24日に坂東普及センター主催の農業学園アグリセミナーが開催され、結城地域を含む県西地域の農業学園生が、坂東市内の2戸のネギ生産者を訪問しました。

結城地域の農業学園生にとって、今回の講座は他地域の農業経営を学ぶ貴重な機会となりました。

農業学園は、就農間もない方でしたらどなたでも受講できます。ご興味のある方は普及センターまでお問い合わせください。

— 農業学園の開催予定 —

8月28日 農薬の使い方のポイント

9月下旬 病害虫について

10月以降には、県内外での視察研修を予定



本年度 農業三士退任者紹介

青年農業士

猪瀬 勝則さん

結城市 | 野菜

舘野 忍さん

結城市 | 野菜・普通作

篠崎 安啓さん

常総市 | 野菜

柳田 浩一さん

常総市 | 野菜

大木 陽介さん

常総市 | 野菜

遠藤 実さん

八千代町 | 野菜・水稲

野中 洋さん

八千代町 | 野菜

秋葉 秀幸さん

八千代町 | 野菜

本年度新任者

◆農業経営士◆

照内 康宏さん (八千代町)

◆青年農業士◆

吉田 和朗さん (結城市)

小川 智士さん (結城市)

廣瀬 靖月さん (八千代町)

本県では、農業担い手の確保・育成や地域農業の活性化など、地域農業のリーダーとして活躍いただいている農業者の方々を、農業経営士、女性農業士及び青年農業士として認定しています。

本年度は、青年農業士として活躍されてきました8名の方々が退任されました。また、農業経営士1名、青年農業士3名が新たに認定されました。今後も地域農業でのご活躍にご期待申し上げます。

住宅地等での農薬の使用には注意しましょう！

農薬は適正に使用されない場合、人畜及び周辺的生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。

学校、保育所、病院等の公共施設、住宅地近隣の農地等については、病害虫や雑草の早期発見や連作回避、土づくりや施肥、農薬以外の物理的防除などを併用し、農薬の散布回数を削減する等の管理を心掛けましょう。

また、農薬を散布せざるを得ない場合でも、ラベルに記載された内容を守ることはもちろん、農薬の飛散防止や事前の周知など、十分な配慮をしましょう。



注意